

新・さぬき野

かがやくけん、かがわけん。

香川県

2020 No.70

秋

香川で、日々おおらかに。

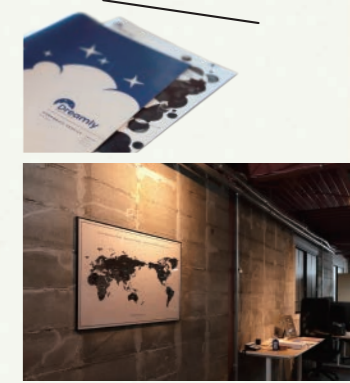
2nd Hometown



「この街で イノベーションを起こしたい」 Dreamly CEO ラーション・ラーシュさん

株式会社Dreamlyの創業者でCEOを務めるラーシュさん。進行中の共通診察券のアイデアが、公益財団法人かがわ産業支援財団主催の「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」で最優秀賞を受賞。

香川に住んで
はじめたこと



高松常盤町商店街にあるオフィス。同じビルに同志とインキュベーションスペースを作る。「地域を面白くしようと
思う人たちのつながりが、一番大切」

スウェーデン生まれのラーシュさんが幼い頃に熱中したのは、パソコンと日本のアニメ。パソコンはその仕組みにも興味を持ち小学生の頃から分解や組み立てを行い、アニメを通して日本語を身に付けるほど日本好きになった。

成長したラーシュさんは堅実な警察官を目指し一度は社会に出たが、ITへの熱が冷めやらず超難関のスウェーデン王立工科大学を受験し、合格。コンピュータサイエンスを学んで、再び社会に出るとソフトウェア開発者となり、思う存分好きな仕事に携わる。



「ステイホーム」になる前から、リモートワークを導入。スウェーデン式コーヒーブレイク「フィーカ」をリモートで行うことも。

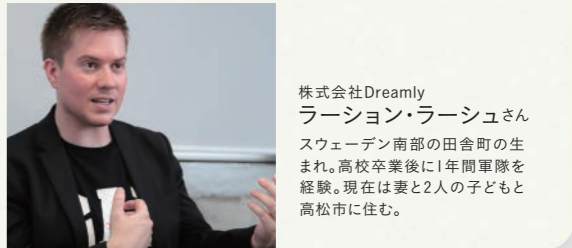
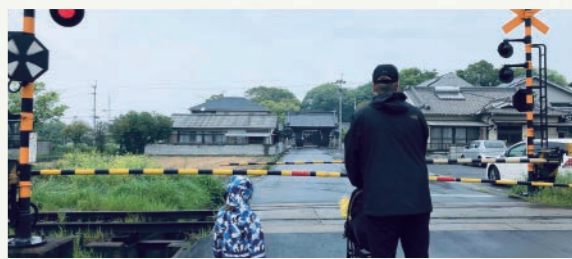
私生活では、スウェーデン留学中の日本人女性と出会って結婚し、2017年に妻のふるさと香川県に移住。2年後にITコンサルタントを行う株式会社Dreamlyを設立する。企業や団体が提供するサービスが、IT化の遅れで非効率

だと感じ「イノベーションを起こしたい」と思ったのだ。現在事業化を目指しているのは、手間のかかる予約や、長い待ち時間をアプリで解消する、さまざまな病院で使える共通診察券。またイノベーターを育てる拠点づくりも進めており「最近増え出したITやデザイン関係の移住者、街を面白くしたいと考えている地元企業人と共に、構想を練るのが楽しくて仕方ない」と語る。

一方、ラーシュさんにとって仕事以上に大切なのは家族。海も山もあり、人も穏やかなこの土地なら、スウェーデンのようなワーク・ライフ・バランスのいい生活を保てると感じている。

仕事も生活も自分のベースで楽しむ。新時代のライフスタイルを自然に実践している。

家の近所を子どもと散歩する姿を、妻が撮影。「どちらを向いても山や緑のある景色で、穏やかな気分になります」



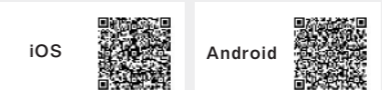
株式会社Dreamly
ラーション・ラーシュさん
スウェーデン南部の田舎町の生まれ。高校卒業後に1年間軍隊を経験。現在は妻と2人の子どもと高松市に住む。

香川県情報誌 新・さぬき野 2020 秋



香川県に関する問い合わせ
香川県広聴広報課 〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL087-832-3019
香川県のホームページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/>
新・さぬき野のページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/sanukino/>
香川県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100
香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661

多言語電子書籍でもご覧いただけるようになりました。
無料アプリ「カタログポケット」をインストールして
「新・さぬき野」で検索してください。



かがやくけん、かがわけん。
香川県

香川に暮らせば。

香川に移り住み、笑って暮らす人たちがいる。
好きな仕事をして、好きな場所で休日を過ごし、
時には地域独特の習慣に戸惑いながら、
朗らかにおおらかに時間が積み重なり、
彼らにとって香川がもう一つのふるさとになる。



「田舎暮らしを満喫しています」と大吾さん。家族全員が地域に守られていると、日々感じる。

おばあちゃんが 大勢いるみたい

東日本大震災のボランティア活動に出向いて人生を考え直したくなり「いろんな世界を見たい」と、旅に出ました。その後で香川に来たのに具体的な理由はありません。以前に滞在した時、優しく温かい人たちが素朴な食べ物と、深い所でつながったという感じでしょうか。
香川で娘が2人生まれました。上の娘は保育園に通っていて、家ではなく職場の「五名ふるさとの家」に「ただいま」と帰って来ます。親が手を離せない時は、一緒に働いている地域の女性たちが相手をしてくれるので、おばあちゃんが何人もいるみたいです。



飯村大吾さん 遊宇さん
五来ちゃん(2歳半) 宇来ちゃん(6カ月)

2016年3月、旅先から東かがわ市五名に移住

<家族構成>

夫婦、娘2人 / 移住後に娘たちが誕生

<現在の仕事>

夫は「産直カフェ 五名ふるさとの家」店長兼講師。妻も同店で、接客、パンの製造などを行う。

<移住前の仕事>

夫は介護関係の企業に勤め、妻はパン屋に勤務

<移住の動機>

人生を考え直そうと、北海道出身の2人が移住を考えながら、沖縄まで日本縦断の旅をした。

<なぜ香川に>

旅の資金が尽きると各地で仕事をした。高松市でも1年間働いて友人ができた。旅を終えた時、うどんとおでんが食べたくって香川に立ち寄り、しばらく滞在。東かがわ市五名で農業を手伝っていた時に、知人から林業実習生にならないかと誘われ、そのまま住むことに。

<東かがわ市五名のここが好き>

五名には10組以上の移住家族がいる。人と自然が温かく受け入れ、見守ってくれる。



「産直カフェ 五名ふるさとの家」では地元の特産品を販売。シカ肉やイノシシ肉のカレーが食べられる季節も。大吾さんも狩猟免許を持ち、解体もできる。



永井博之さん 早苗さん

2016年12月、東京都から三豊市に移住

<家族構成>
夫婦、娘2人(13歳と11歳) / 移住後犬と猫を飼う

<現在の仕事>
有機・自然栽培農業、スパイスカレー販売(受注販売、イベントで販売)を行う「風凛堂」経営

<移住前の仕事>
夫は会計事務所、妻は管理栄養士として美容関係の企業に勤務

<移住の動機>
生活は安定していたが、住宅と教育の支出が大きすぎる東京に疑問が生まれる。人の基本は食と農と感じ有機農法の農家を手伝ううちに「地方で農業を」と考えた。

<なぜ香川に>
移住フェアで最初に香川県三豊市のブースで話を聞く。現地を訪ね、里山と海に感動。

<三豊市のここが好き>
人と自然。物価の安さ(特に住宅と土地)、農産物の新鮮さ。人付き合い(最初は戸惑った)。



イベントで販売するスパイシーなカレー。



自分で育てた赤米、ナス、キュウリ、ミニトマト、梅干しとみそも自家製の昼食用の弁当。



娘たちの念願だった犬と猫のいる生活に。



仕事に偏った生活からダウンシフトしたくて、不安ながらも移住しました。農業での自活は予想以上に難しく収入は減りましたが、中古の家を購入し、毎日新鮮な野菜や果物を食べ、心豊かに暮らしています。制服のおさがりを頂いたり、農作物をお裾分けし合う地域との関係も、面白いものです。

標準装備のおすそ分け文化



自作の野菜。近所の農家からも野菜や果物の大量の差し入れがある。



「児童公園に立ち寄るように気軽に海で遊べます。自営業は時間を作りやすく、夫婦で子どもと遊ぶ時間がたくさんあります」

いつでも海岸を独り占め

テレビの仕事をしていた頃は、30時(午前6時)終業など当たり前でしたが、ここではその時間に起きてゲストの朝食を作る健康的な生活です。

島は観光客が多いとはいえず都会のような慌たしさはなく、交通量が少ないので、安心して子育てができます。島の子どもたちは元気で素直。道で出会えば知らない人にもあいさつします。うちの子も同じようにすくすく育ってほしいですね。

保育園にお迎えに行つてそのまま海に寄ると、海岸を独占していることがよくあります。島暮らしが長くなって忘れがちな時間が紛れています。



杉浦聡美さん

2014年4月、兵庫県から高松市に移住

<家族構成>
夫婦

<現在の仕事>
宿泊施設「TEN to SEN ゲストハウス高松」経営

<移住前の仕事>
都市計画事務所のプランナー。製菓メーカーの商品開発

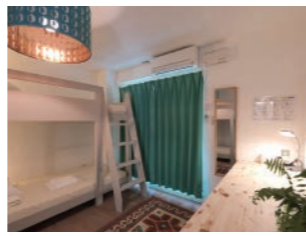
<移住の動機>
ゲストハウス開業は10代からの夢。夫が会社を辞めるのを機に開業地探しをスタート。

<なぜ香川に>
①女性ウケする観光資源(=アート)②地域で愛されるソウルフード(=うどん)③大都市圏から2~3時間で移動可、の条件に高松が合致。瀬戸内国際芸術祭で初めて訪れ「ここだ!」と直感。旅行中に物件探しを開始。

<高松市のここが好き>
生活に必要な施設に自転車で行ける。



行きつけの店「C'est bien(セビアン)」。東京の電機メーカーに勤めていた小竹さん(写真左)がリターンして開いた自然派のワインバー。



瀬戸内国際芸術祭の期間中はアート好きで連日満室の「TEN to SEN」。



移動は徒歩か自転車。夫はフリーランスのランドスケープデザイナー。高松で東京や大阪の企業と仕事をしている。

大き過ぎず、小さ過ぎず。街の佇まいがいい



繁華街から自転車ですぐ5分行けば、眺めのいい海がある。質のいい食材の料理を手頃な価格で提供する店がいくつもある。仕事だけでなく、生活の場としても街の規模と佇まいが好きです。顔なじみのレストランやバーに立ち寄り、たわいもない話をしていきます。



川崎光紘さん 菜美さん 向晟ちゃん

2016年5月、東京都から直島に移住

<家族構成>
夫婦、息子(3歳) / 移住後に息子が誕生

<現在の仕事> フランコイル ゲストハウス「FRANCOÏLE 島泊 & 珈琲」経営

<移住前の仕事>
夫婦ともに、美術監督としてテレビ番組の美術制作を行う会社に勤務

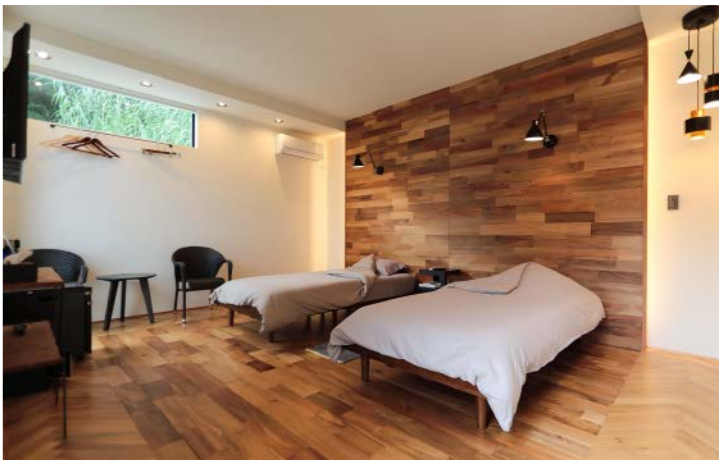
<移住の動機>
好きな仕事に熱中し、充実した日々を送っていたが、結婚して子どもを持ったら今の暮らしが最適ではなさそう、と感じ移住に関心を抱く。

<なぜ香川に>
空間建築学を学ぶ大学生だった時に旅行で訪れ、建築とアートに衝撃を受けていた妻が「住むなら直島」と提案。二人とも旅行好きで宿泊業に興味があり、「自分たちの理想の宿で世界中の旅行者をおもてなししたい」と考えた。

<直島のここが好き>
島外から入って来る人に対して「ウエルカム」な土壌がある。島の未来を考える「直島塾」という団体がある(川崎さんは副会長)。



カフェを併設し、自家焙煎のコーヒーを提供。コーヒー豆を店頭とインターネットで販売している。



大人も落ち着いてくつろげる居住性を目指した朝食付きの「FRANCOÏLE」。



美術監督だったセンスを生かし、コーヒー豆のパッケージは自分でデザイン。



山田唯可さん(左) 深井稔さん

2009年5月、大阪府から普通寺市に移住

<家族構成>

深井さん-夫婦と娘/移住後に娘(2歳)が誕生
山田さん-単身

<現在の仕事>

キウイフルーツ農家。今秋、オリジナルブランド「深山のキウイ」名義で、「さぬきキウいっこ」をインターネットで販売予定

<移住前の仕事>

深井さんは医療関連会社を退職し、就農資金調達のためトラックの運転手を仕事に。山田さんは印刷会社で広告制作などを担当

<移住の動機>

最初の職業に面白みを見いだせず、起業しようとして話し合っ、農業にたどり着く。大阪周辺で修業先が見つからず、移住を検討。

<なぜ香川に>

キウイフルーツだけを栽培する農業法人を営む「キウいの師匠」と出会い、師匠の会社のある普通寺市に移住。

<普通寺市のここが好き>

温暖な気候と自然災害の少なさは農家にとって安心材料。人も温かくて優しい。



「ものづくり」のような丁寧な農業を心掛け5種のキウイを栽培。「自然相手に生きる知恵を付けられるのが農業の面白み」



二人が注力している香川県オリジナルの品種「さぬきキウいっこ」。一口サイズで、半分に割れば押し出しながら食べられる。



同じ頃に静岡県から移住した「ひまわり農園」の森田さん(写真中央)も加わってひと休み。農業の話が一番盛り上がる。

実りを眺め 未来の話。 サイコーです

ここ2、3年、さまざまな要因で木が倒れ苦しい時代でした。そうしたら「はるばる大阪から来た若者の一大事」と、キウイ栽培を辞める人が畑を引き継がせてくれるなど、たくさん先輩農家が助けてくれました。そのかいあって今年収穫量が上がりそう。思い切ってオリジナルブランドを立ち上げます。



連河健仁さん

2006年7月、旅の途中で小豆島に移住

<家族構成>

夫婦、娘(3歳)/単身で移住して結婚。娘が誕生

<現在の仕事>

「NPO法人 DREAM ISLAND」設立。シーカヤックのガイドと、棚田の維持のために、協力して作り始めた米を提供するカフェ「こまめ食堂」の運営

<移住前の仕事>

ウェブデザインの会社経営

<移住の動機>

ITバブルがはじけ、経営していた会社を解散。傷心を抱え旅に出た。移住は考えていなかった。

<なぜ香川に>

旅の途中で高松港に立ち寄り最初に出航する船に乗った。船上で海と島が調和する美しさに打たれ「この海と暮らそう」と決意。船の行き先が小豆島だった。

<小豆島のここが好き>

とにかく瀬戸内海。



瀬戸内海を冒険。 ひとりも楽し

海と暮らす日々を大切にしている。「将来に向け、瀬戸内海の保全の必要性を、多くの人に知ってほしい」



小豆島移住は直感で決めた。「条件を並べて頭で考えるより、意外とうまく行きます」



テラスで棚田を眺めながら食事ができる「こまめ食堂」。食材のほぼ全てが小豆島産。



小豆島は海と人の距離が近く、独特の生活と文化があふれています。「もっと魅力を発信しようよ」というおせっかいから、住み着いて15年目です。シーカヤックは、瀬戸内海の潮流と空模様と向き合うのが醍醐味。最高のレジャーであり海を学ぶ術です。



散歩道には、山の連なり、田んぼ、茶畑が広がる。「この辺でソバの実も栽培されていたと聞きソバ料理にも興味があります」



淵上義哉さん 香織さん

2012年10月、大阪府からまんのう町に移住

<家族構成>

夫婦、犬/移住後に犬を飼う

<現在の仕事>

「季節をたべる食卓numar」オーナーシェフ。妻はスイーツ担当

<移住前の仕事>

夫は福岡県出身で、10代を香川県で過ごした後県外で料理修業。大阪から香川に戻る。妻は兵庫県出身で、中学時代から香川に住む。

<移住の動機>

夫は福岡県出身で、10代を香川県で過ごした後県外で料理修業。大阪から香川に戻る。妻は兵庫県出身で、中学時代から香川に住む。夫は修業中に独立を考え始め、都会で周囲の店と競うより、食材の生産地に近い田舎で、本当に作りたい料理を提供したいと思うように。

<なぜ香川に>

10年近く交際していた現在の妻がいたので、ひとまず香川に。また県外に出たことで、香川県産の野菜のおいしさに気付く。特に讃岐山脈に近い県南部の農作物や山菜に力強さを感じ、店を構えようと物件探しを始めた。

<まんのう町のここが好き>

自然に近い。土も水もきれい。

食を巡るライフスタイルや文化を提案するレストランを開きたかったので、土と水の質がよく、滋味深い農産物が育つまんのう町は最適でした。山菜など天然の食材が育ち、春は朝採れのタケノコやクレソンを料理します。愛犬のふくちゃんが出来てからは、朝と夕方にため池や山を散歩するのが日課。歩きながら景色を眺めていると、食べものはもちろん、暮らし全体が自然と近い幸せを感じます。最近はお客さんと、朝5時から山登りをしています。

山の散歩が 朝夕の ルーティン



昭和の雰囲気の住宅を改装。自然派の若い女性から地域の元気なシニアまで客層は幅広い。



食材はほぼ県産。店の隣では、近隣の農家が栽培した野菜を友人が販売。「小さいながらも地域の経済を回す場にしたい」



感染症対策の基本として忘れてはならない「手洗い」だが、讃岐には豪快に手を洗う妖怪がいた。その名も「手洗鬼」。江戸時代の奇談集「絵本百物語 桃山人夜話」にその姿が描かれている。著者は桃山人、桃花園三千磨とも称した戯作者の一人。挿絵は竹原春泉、江戸時代後期の浮世絵師である。桃山人は「讃州高松より丸亀へかよう入海あり。其間の山々三里をまたけて手をあらふものあるよし。名はいかがにや知らず、ただ讃岐の手あらひ鬼といふ。」と記している。さらに解説においては、大太郎坊という大魔の使いであるとする。

三里はおよそ12km、瀬戸大橋の全長(海峽部)は10kmにも満たないので、今でいう香川県坂出市と岡山県倉敷市に足をかけ、瀬戸内海で手を洗うことができる巨大さだ。

大太郎坊は「だいだらぼっち」とも呼ばれ、日本各地に伝わる巨人である。香川県では、これを「おじよも」と呼ぶ。讃岐富士と呼ばれる飯野山(飯野山帯には「おじよも」伝説が伝わり、「説には、日本中を歩きながら山を造っていたおじよもが「讃岐の国にも、山を造ろうか」と、瀬戸の海をひとまたぎして「むすびのようにつけこい三角の山」飯野山を造ったという。「この飯野山が一番のええ出来じゃ」と眺めているうちに小便がしたくなり、飯野山と象頭山に足をかけて、大雨のような小便をして土器川になったと伝わる。だとすれば、



おじよもが造ったと伝わる飯野山、別名「讃岐富士」。



飯野山山頂にはおじよもが残したという「おじよもの足跡」がある。

讃岐の手洗鬼

用を足した後で手を洗ったのだろうか。それとも、妖怪といえども疫病を恐れていたのか。今では音沙汰の途絶えた「手洗鬼」である。

この本が描かれた天保時代は、冷害や洪水で凶作が続いた上に倭約令や風俗取締令で有名な「天保の改革」が行われ、人心は閉塞感に満ちていたという。どこか、コロナ禍の今と似ていないだろうか。そういう時代には妖怪がよみがえる。ちなみに妖怪アマビエは、人気のあまりグッズや和菓子にまで姿を変えた。

香川県には他にも多くの妖怪伝説が残されている。また、日本を代表する昔話「桃太郎」「浦島太郎」「かぐや姫」ゆかりの地であるとも伝わる。コロナ禍が過ぎ去った後は、ファンタジーに心遊ばせ香川県を巡ってみてはどうだろうか。



三豊市にある荘内半島は浦島伝説の地の一つとして知られ、浦島の物語にゆかりのある地名が点在している。写真は浦島太郎が亀を助けたと伝わる鴨之越の対岸にある丸山島。潮が引くと歩いて渡れる。



●『竹原春泉 絵本百物語 -桃山人夜話-』国書刊行会
●所蔵 多田克己

国連児童基金(ユニセフ)により10月15日は「世界手洗いの日」とされている。今も昔も手洗いの大切さは変わらない。



桃田選手の活躍で 人々に元気と勇気を!

香川県知事
浜田 恵造

桃田 ヘアピンは、相手側のネット際にシャトルを落とすテクニクですが、試合観戦ではヘアピンなどのプレーや勝ち負けだけではなく、選手が感謝の気持ちを持ってコートに立っている、そう

一つ一つ積み重ねていき、本番への良い準備をしていきたいですね。
知事 オリンピックのプレーでも期待されるのが、桃田選手の代名詞とも言える「ヘアピン」というテクニク。こうした見どころや観戦のアドバイスをお願いします。

からは、香川県にマスクやリストバンドを寄贈いただいたほか、県民の皆さんを励ますメッセージをいただき、誠にありがとうございました。マスクは「たすけあいマスクバンク」を通じて必要とされている方に着実にお届けしています。桃田選手は個人で、またUDN Foundationを通じて多大な社会貢献をなさっておられると伺っています。
桃田 ふるさと香川の素晴らしい賞をいただ

いう部分も感じていただければありがたいですね。いくらプレーを磨いても、コートに立っているのは僕一人の力ではありません。周りのサポートがあつてようやく立てているのだと、今回のことでも身に染みました。
知事 人間的にもさらに成長された桃田選手ですが、新型コロナウイルスによる外出自粛の期間を香川県で過ごされたこと伺いました。久しぶりに戻られて、どのような気持ちになりましたか。
桃田 実家の周りには自然が豊かで静かです。やっぱり落ち着きますね。香川県は、うんだけけではなく食べたいものがある、帰った時にはおいしいものを食べてリフレッシュしています。そうすると、また頑張ろうと思えます。また、おいと会って、話をしたり一緒に遊んだりすると、そのたびに癒やされています。
知事 子どもたちの笑顔には本当に癒やされますね。ご存じかもしれませんが、新型コロナウイルスの影響で、県内の中学生や高校生の体育大会が中止されました。代替大会が行われる競技もありませんが、子どもたちは、本来の大会が開かれないことを残念に思っています。
桃田 学生の皆さんは、本来目標としていた大会が中止になり、悔しいという気持ちがあると思いますが、ずっと積み重ねてきたものは決して無駄にはなりません。能力だけじゃなく人として積み上げていくものもあると思います。それは必ず今後につながるもので、次のステージのためにも頑張りが続けばいい。また僕自身、少しでも多くの皆さまに夢や希望を与えられるような存在になれ

感謝の気持ちで ラケットを握る

バドミントン選手
桃田 賢斗



香川県三豊市出身。1994年9月1日生まれ。NTT東日本所属のバドミントン日本代表選手。バドミントン男子シングルス世界ランキング1位(2020年3月17日現在)。2015年に全日本総合選手権で初優勝。同年、BMWワールドスーパーシリーズファイナルズ(現ワールドツアーファイナルズ)男子シングルスで日本人として初めての優勝を飾る。2019年には、国際大会で11勝を挙げ、史上最多となる年間勝利率を記録。2021年に開催延期となった東京2020オリンピックでの金メダル獲得が期待されている。

知事 来年の東京2020オリンピック出場を確実にしている桃田選手は香川県三豊市のご出身です。バドミントンの日本選手として前人未踏の快進撃を続けている桃田選手には、4月に日本オリンピック委員会(JOC)から2019年度のJOCスポーツ賞特別栄誉賞が贈られ、香川県からも2月にスポーツ栄光特別賞をお贈りしました。新型コロナウイルスの影響で大変な状況にある中、桃田選手とUDN Foundation

から、香川県にマスクやリストバンドを寄贈いただいたほか、県民の皆さんを励ますメッセージをいただき、誠にありがとうございました。マスクは「たすけあいマスクバンク」を通じて必要とされている方に着実にお届けしています。桃田選手は個人で、またUDN Foundationを通じて多大な社会貢献をなさっておられると伺っています。
桃田 ふるさと香川の素晴らしい賞をいただ

き、ありがとうございます。受賞の栄誉は日頃から支えてくださるファンの皆さま、スタッフ、チームメイト、周りの方々のおかげと、改めて感謝しています。少しでも皆さまに恩返しできることはないかと考えている中で、アスリートの社会貢献のためのプラットフォームであるUDN Foundationに参加し、この活動などを通して、バドミントンの普及や社会貢献を果たしていきたいと取り組んでいるところです。
知事 桃田選手のご活躍とともに、社会貢献される姿に感銘を受けます。その桃田選手が今年の1月に、遠征先のマレーシアで交通事故に遭って、大けがをされたこと伺い、大変心配いたしました。大事に至らなかったことが何よりでしたが、
桃田 ご心配をお掛けしましたが、けがについては完治しました。けがの直後は、バドミントンができなくなるのではと不安でしたが、周りの方々やトレーナーのおかげで、リハビリを乗り越えて回復することができました。今は完治した姿を見ていただくとともに、皆さんへの感謝の気持ちをバドミントンでのプレーという形で表現していきたいと思っています。

知事 思う存分プレーする姿、楽しみにしています。一方で東京2020オリンピックが開催延期となりました。金メダル獲得を期待される桃田選手としては、どう受け止めていますか。
桃田 コロナ禍という状況があることで、ネガティブなニュースが多い中、スポーツの力で日本を明るくしていきたいと思っています。オリンピックが2021年に延期になったことについては、はやる気持ちを分散させて、今はできることを



るように、日々頑張っています。
知事 桃田選手が困難を乗り越えて活躍される姿は、県民のみならず多くの人々に元気や勇気を与えます。数々の世界大会で優勝し、世界の頂点に上り詰めた桃田選手は、出身地である香川県の誇りです。オリンピックをはじめ世界での活躍を心から応援しています。

※今回の対談は、書面インタビューで実現しました。

段ボールの未来をデザインする



子どもたちの手にもやさしい「hacomo kids」。



2017年かがわ県産品コンクール15周年特別賞を受賞した縁起の良い「えんぎもの」。

段ボールのプロダクトデザインという希少な分野で躍進するhacomo株式会社。代表取締役でありダンボールクリエイターの岡村剛一郎氏は「ダンボールでオモシロイことを創造し、世界の人々にワクワクとハッピーを届ける」をミッションに世界ブランドを目指す。

hacomo



パッケージはほぼ定型封筒サイズ。かわいいパーツと世界を旅する気分で作る「PUSUPUSU」。



記念すべきhacomo製品の第一号。

迫力満点の「hacomo big」。子どもたちの歓声が響く遊具や迷路などはイベントで大活躍している。



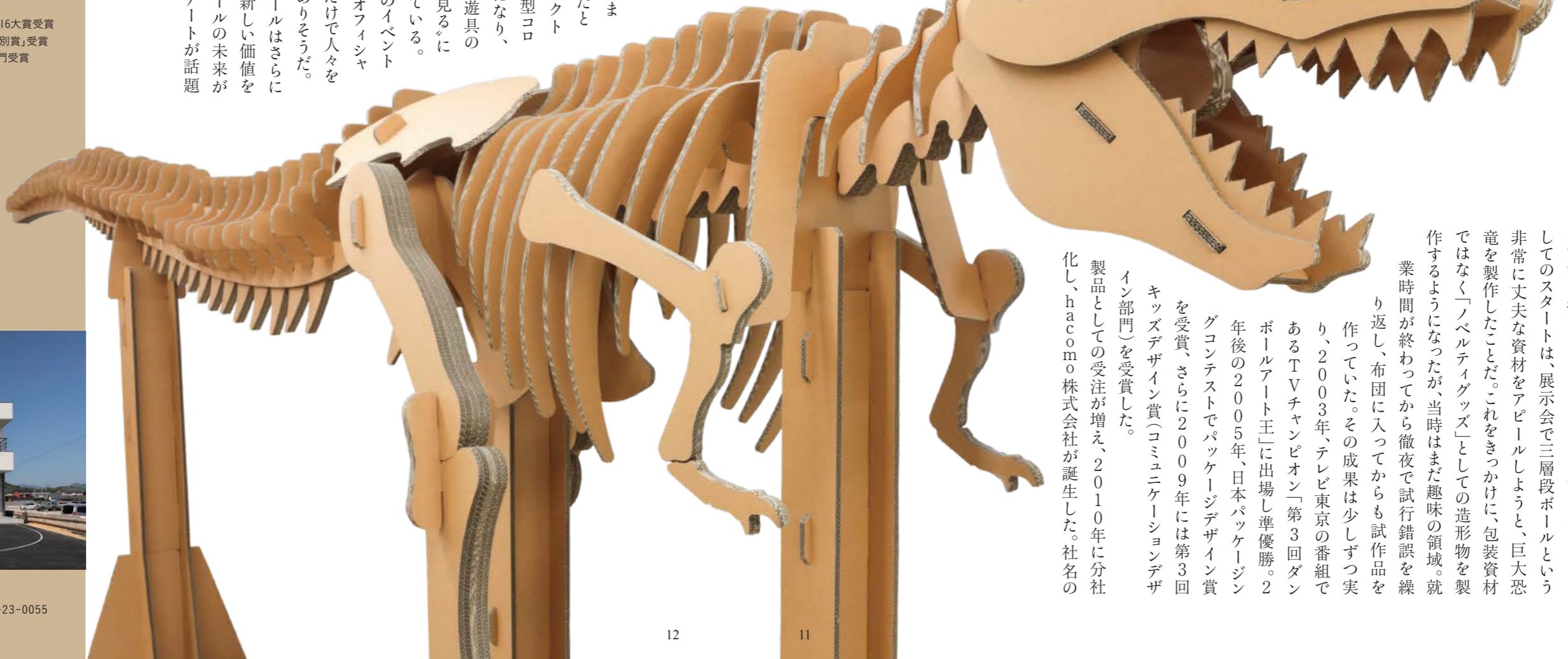
瀬戸内国際芸術祭のオフィシャルショップで活躍した棚。ベースは組み立ても運搬も保管もスムーズな段ボール家具「dan-cag」。



実物大の列車も作ってしまうのがhacomo。「なりきり」シリーズでは実際に身に着ける「よろい」や「かぶと」もある。



hacomo株式会社代表取締役社長
ダンボールクリエイター
岡村 剛一郎さん
香川県高松市在住
1977年 6月 誕生
2000年 3月 岡山理科大学卒業
4月 富士ダンボール工業株式会社入社
2008年 1月 hacomo / ハコモを商標登録
2010年 11月 hacomo株式会社 COOに就任
2011年 2月 かがわビジネス・チャレンジコンペ2011最優秀賞受賞
2016年 1月 hacomo株式会社代表取締役社長に就任
2017年 1月 香川県環境配慮モデル事業所認定
2月 かがわ発! 先進的ビジネスモデル2016大賞受賞
9月 かがわ県産品コンクール「15周年特別賞」受賞
2020年 2月 「かがわ成長する企業大賞」奨励部門受賞



2000年に富士ダンボール工業株式会社(現在の株式会社FUJIDAN)に入社した岡村剛一郎氏は、段ボール箱や緩衝材などの包装資材の設計を担当していた。ダンボールクリエイターとしてのスタートは、展示会で三層段ボールという非常に丈夫な資材をアピールしようと、巨大恐竜を製作したことだ。これをきっかけに、包装資材ではなく「ノベルティグッズ」としての造形物を製作するようになったが、当時はまだ趣味の領域。就業時間が終わってから徹夜で試行錯誤を繰り返し、布団に入ってから試作品を作っていた。その成果は少しずつ実り、2003年、テレビ東京の番組であるTVチャンピオン「第3回ダンボールアート王」に出場し準優勝。2年後の2005年、日本パッケージングコンテストでパッケージデザイン賞を受賞、さらに2009年には第3回キッズデザイン賞(コミュニケーションデザイン部門)を受賞した。製品としての受注が増え、2010年に分社化し、hacomo株式会社が誕生した。社名の

由来はハッピーコミュニケーション。ゲームやインターネットの普及で、手作りの楽しさから遠ざかってしまった子どもたちにも、ものづくりの楽しさや、そこから生まれるコミュニケーションを大切にしたいとの命名だ。岡村氏自身もものづくりの楽しさを追求しながらチャレンジを続け、2018年にはTVチャンピオン極「KIWAMI」ダンボールアート王決定戦

で優勝を飾り、名実共に段ボールアートのチャンピオンとなる。アート王に輝いた岡村氏だが、これまでにアートを意識することはなかったという。あくまで製品としてのプロダクトデザインにこだわってきた。しかし、新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になり、子どもたちの歓声が響いていた大型遊具の受注が止まってしまった。そこで今、見るに重きを置いた作品づくりを考えている。hacomo株式会社は美術館からのイベント要請も多く、瀬戸内国際芸術祭にもオフィシャルショップなどで関わってきた。視覚だけで人々をハッピーにするチャンスはいくらでもありそうだ。環境に優しく、汎用性の高い段ボールはさらに可能性を広げ、アート素材としても新しい価値を生み出すに違いない。ますます段ボールの未来が面白くなってきた岡村氏。段ボールアートが話題を呼ぶ日は近いかもしれない。

香川・愛媛 せとうち旬彩館

KAGAWA EHIME SETOUCHI SHUN SAI KAN

東京・新橋アンテナショップ

特産品ショップ、郷土料理、観光情報コーナーで香川の旬をぜひどうぞ。

皆さまのお越しをお待ちしています！

「香川・愛媛せとうち旬彩館」は、感染防止対策をしっかり行って元気に営業中です。おうちで楽しめる香川の食やグッズを取りそろえた1階の特産品ショップ、2階の工芸品・雑貨ショップや、香川ならではの食材が堪能できるレストラン「かおりひめ」を、ぜひご利用ください。現在「秋の旬のフェア」も開催中です。今の季節だけ楽しめる香川の恵みをお届けします。



スタッフ一同、皆さまのお越しをお待ちしています。

店内では、皆さまに安心してご来店いただけるよう、スタッフが一人ひとりが感染防止対策に取り組んでいます。ご来店の際は、手指消毒やマスク着用など、ご協力をお願いします。

「香川&愛媛 ふるさと生産者応援フェア」開催しました。

緊急事態宣言解除後の6月に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地元事業者さんを応援するフェアを開催し、普段取り扱っていない地元商品を、多くのお客さまにご購入いただきました。まだまだ厳しい状況が続いています。これからも、引き続き旬彩館をご利用ください。



〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10新橋マリビル1・2階
http://www.setouchi-shunsaikan.com
観光情報コーナー TEL03-3574-2028

ふるさと納税 ガンバレさぬき応援寄付

香川県では、ふるさと納税「ガンバレさぬき応援寄付」として頂いた寄付金を活用し、信頼・安心、成長、笑顔の香川づくりを進めています。



寄付金は使い道をお選びいただくことができ、特に今年度は新型コロナウイルス感染症対策や若者の働く場の確保を新たな使い道として新設しました。

「こころのふるさと」として香川を応援していただいた方への返礼品には、香川県の魅力的な県産品を取りそろえています。これからの季節は、香川県オリジナル品種のキウイフルーツやオリーブハマチなどがお薦めです。さらに、今年度からは県産オリーブを使用した県産オリーブ関連商品も多数登場。

ふるさと香川の応援をよろしくお願いします。

詳しくは、香川県の返礼品を掲載しているふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」をご覧ください。

ふるさとチョイス あなたの意思をふるさとに

【問い合わせ】香川県政策課 TEL087-832-3122

香川漆芸から新たに誕生 大谷早人氏 人間国宝へ

香川漆芸から、新たな人間国宝が誕生します。香川漆芸の作家である大谷早人氏が、今年度の重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定について答申されました。大谷氏は、竹ひごを編んだ素地を用いる藍胎蒔器という漆芸技法の継承者であり、繊細な色彩による品格のある作品が、漆芸に新たな作風を切り開いたとして高く評価されています。これまでも、第45回日本伝統工芸展高松宮記念賞(優秀賞)や第49回日本伝統工芸展文部科学大臣賞(優秀賞)などのほか、2009年には紫綬褒章を受章されています。



藍胎蒔器箱「秋の野」 藍胎蒔器網代編蒔器

香川漆芸とは

香川漆芸は、200年近くの歴史を誇り、彫刻刀や剣による彫りの技術と色漆の使用が特徴。江戸時代後期に玉椿象谷が確立した「蒔器」「存清」「彫漆」は「香川の三技法」と呼ばれている。大谷早人氏を含め、これまで香川県では6人の重要無形文化財保持者(人間国宝)が誕生している。



今回の認定で、香川県の人間国宝は、同じく香川漆芸の磯井正美、山下義人の各氏と合わせて3人となります。全国でも漆芸分野の人間国宝が11人しかおらず、そのうち3人が香川漆芸から誕生していることは、香川漆芸が日本の伝統文化にとっていかに重要であるかを示しています。

現在、大谷氏は作品制作と並行して、後進の指導・育成にも尽力されており、香川県漆芸研究所で芸芸指導員として技術指導にも当たっています。大谷氏自身も修了生である漆芸研究所は、人間国宝をはじめとする一流の講師陣による指導を受けられることから、全国から研究生が集まり日々研さんを積んでいます。今回の喜ばしいニュースは、香川漆芸の未来を担う人たちにとっても、大きな励みになるに違いありません。

【問い合わせ】香川県文化振興課 TEL087-832-3782 香川県漆芸研究所 TEL087-831-1814

3密(密閉、密集、密接)を避ける! こまめに換気!

会話はマスク! こまめな手洗い、咳エチケット!

十分な距離を! 毎朝、体温チェック!

香川県へお越しの皆さまへ ~新型コロナウイルス うつらない、うつさない~

- 体調不良の時はできる限り外出を控えてください。
- 症状がある方はすぐに相談を! 香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター TEL0570-087-550(専用ナビダイヤル) ※24時間受付 ※FAXでのご相談は、各保健所で受け付けています。

● 香川県内の新型コロナウイルスの感染拡大状況をご確認ください。https://www.pref.kagawa.lg.jp/

香川県 コロナ 検索

※県公式ツイッターやフェイスブックでも情報を発信しています。

- LINEアプリを使って、感染拡大を防止! 「かがわコロナお知らせシステム」LINEアプリで、県内の飲食店やイベント会場などにあるQRコードを読み取ると、同じ日の利用者に感染者がいた場合にお知らせが受け取れます。 ※香川県LINE公式アカウントへの友だち登録が必要です。



友だち登録はこちら

かがわコロナお知らせシステム 検索

スマートフォンやタブレットでも 新・さぬき野を多言語対応 電子書籍で配信

「新・さぬき野」が多言語対応電子書籍でもご覧いただけるようになりました。いつでも、どこでも、お好きな言語で、香川の魅力あふれる誌面をお楽しみください。



新・さぬき野夏号(2020 No.69)から配信しています。

【閲覧方法】スマートフォン・タブレット端末用アプリ「カタログポケット」(無料)をインストールし、「新・さぬき野」で検索してください。 ※アプリダウンロードQRは裏表紙に掲載

【対応言語】9カ国語10言語(日本語、英語、韓国語、中国語(簡体字・繁体字)、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語)

【問い合わせ】香川県広聴広報課 TEL087-832-3019

インターネットで「リアル」に体感 「バーチャル企業見学会」を開催

香川県内の企業をテーマ別に動画で紹介する「バーチャル企業見学会」を開催中です。スマートフォンやパソコンから簡単に視聴することができ、実際に企業を訪問しなくても、社内を見て歩き、まるで社員の方の話を直接聞いたかのように体感できる内容となっています。さらに、就活のヒントとなる「ノウハウ特別セミナー」も同時に公開しています。



これから就活を始められる学生の方は、ぜひ一度ご覧いただき、県内企業の魅力を感じてみてはいかがでしょうか。

【対象】就職年次前の大学などの学生 【公開期間】2021年2月28日まで 【紹介企業】四国電力(株)・四国電力送配電(株)、高松商運(株)、(株)STNet、(株)JR四国ホテルズ、南海プライウッド(株)、(株)アムロン、大倉工業(株)、(株)マキタ

【問い合わせ】ワークサポートかがわ TEL087-802-4700

バーチャル企業見学会 検索

